

vol.

117

2024

9/27 発行



いちのへ社協だより

ゆいっこ



## CONTENTS

【特集】多世代交流フェスティバル2024 災害に備えて今できること	2～3	社協からのお知らせ	6
できごとフラッシュ	4～5	赤い羽根共同募金スタート	7
		Topics	8

題号"ゆいっこ"は、古くは若者たちによる共同農作業という素朴な集団の呼称として使われていましたが、この互助精神が福祉の精神そのものと思い、社会福祉協議会広報の題名にしました。

# 災害に備えて 今できること

7月20日、一戸町ボランティア活動拠点いちボラ+で「みんなが楽しい多世代交流フェスティバル2024」が開催されました。今年のイベントテーマは「災害に備えて今できること」。毎年のように発生する大雨や台風、地震等の自然災害から命を守るために私たちに今できることは何か？防災について一緒に考えてみませんか。

## 食 べる

いざ災害が発生すると、電気、ガス、水道等のライフラインが使えなくなることがあります。また道路が寸断され、支援物資が届かないこともあります。災害時にもいつもと変わらない温かくバランスの取れた食事を摂り、心と体を元気に保つことが大切です。



災害用炊飯袋の中に水とお米を入れて30分お鍋のなかで煮ると...



お米が炊けました！味付けごはんトリゾットでめしあがれ。

## 【炊き出しコーナー】



防災おやつポシェットは、災害が起きたときに迷わず避難してもらうためのお願いが書いたおやつです。期限が近付いたら、災害が起こらなかつたことに感謝していただきます。

## 【防災おやつポシェット作り】

## 暮 らす

災害時の避難所は、着替えや授乳、睡眠等プライバシーの確保が難しい場面が想定されます。家庭での備えだけでなく、避難場所の確認やその避難所ではどのような暮らしになるのかを考えてみることも防災への一歩につながります。



一戸町で備蓄している災害用ファミリーテント。



段ボールベッドは子どもや高齢者でも数名が集まれば5分程度で組み立てられる。

## 【避難所生活体験コーナー】

## 学 ぶ

乳幼児向けAED講習やゲーム感覚で学べる防災すごろく、オリジナルストーリー「水害にあった桃太郎」の人形劇等災害について、子どもから高齢者まで楽しく学べるプログラムも行いました。



おはなしボランティアによるオリジナル人形劇「水害にあった桃太郎」。



日本赤十字社岩手県支部による乳幼児用AED講習会。

図書館コーナーでは防災食器づくり、防災ゲームを用意。小学生を中心に集中して取り組んでいました。

災害は、いつどこで発生するかわかりません。もしかしたら明日、あなたが災害に遭うかもしれません。今年度の「多世代交流フェスティバル」は、いざという時に自分の命を、大切な家族の命を、生まれ育った私たちの地域を守るために、「今できること」を考え行動に移してほしいと願いました。このイベントをきっかけに、みんなで災害に強い地域を作っていきたいと思います。

## 食アレポ

みんなに知ってほしい  
アレルギーのおはなし



食アレポ会員の皆さん



災害時炊き出しのアレルギー対策について説明する松田裕美子代表。

### 食アレポオリジナルアレルギービブス

透明な部分はポケットになっていてアレルギー表示を分かりやすく伝えることができます。

食アレポ（松田裕美子代表）は、「食物アレルギーや食事制限があっても無くても、誰も取り残さないように」との思いから立ち上がったサロン団体です。令和5年1月から活動を開始しました。現在アレルギー（花粉症を含む）は、2人に1人の割合で有する程、身近なものになっていきます。「小児アレルギー」をもつ子の親や当事者が、悩みや思いを共有できる場になれば」と代表の松田さんは話します。

特に災害時は、アレルギーを持つ方にとって炊き出しが不安の種になります。いざというとき、その思いを少しでも伝えやすくなればと作られたものがアレルギービブスです。アレルギーをはじめ、様々な方へ配慮できるように日ごろから防災について備えておく必要があります。

## 野菜を収穫 みんなでクッキング いちのへじょうもの里こども園



パプリカを収穫して笑顔で記念撮影。

いちのへじょうもの里こども園の5歳児きりん組は、春に植えた野菜を収穫し、とれたてのパプリカを使っておやつのはしご作りやピザトースト作りに挑戦しました。

子どもたちはエプロンと三角巾に身を包み、カナン牧場の食パンに具材を乗せていきました。野菜が好きな子も苦手な子も、自分たちで育てた採れたての野菜を、美味しく頂くことができました。

これからも楽しんで様々な体験が出来るよう、子どもたちの成長を応援していきたいと思えます。

## 縁日やスイカ割りで心弾む 一戸南学童 夏祭り開催



ヨーヨー釣りを楽しむ表情は真剣そのもの。

一戸南学童クラブでは、8月1日、夏休みを利用してサマーフェスティバル in 南学童と題し夏祭りを開催しました。

高学年を中心に出店の準備を行いました。浴衣や甚平に着替え、縁日に見立てて金魚すくいやヨーヨー釣り、くじ引きを行いました。また、駄菓子屋も開店し、自分たちで作ったカードを手買い物も楽しみました。さらに屋外ではスイカ割りも行われ、大盛況の一日を過ごしました。

## 障がいがあってもなくても共に生きる社会を 北桜高校「ふれあい体験学習」



診療棟にて看護師の説明を聞く生徒。

北桜高校の介護・福祉系列の2年生8名は、8月20日、社会福祉法人岩手県社会福祉事業団中山の園（佐々木和哉所長）を会場に行われたふれあい体験学習に参加しました。この取り組みは、当事者理解と地域共生社会の実現、また福祉現場の様子や福祉サービスを知る機会を目的に実施されたものです。

当日は、中山の園が実施するサービスについての講義に加え、施設見学や利用者と一緒に作業やレクリエーション等の様々な活動へ参加しました。学校の授業だけでは学ぶことができない貴重な現場体験となりました。

## オレンジカフェさくらの会 認知症マフ寄付



にこトピア一戸での寄付の様子と認知症マフ。

オレンジカフェさくらの会（柏葉英美代表）は、会のメンバーやオレンジカフェの参加者らで制作した認知症マフを、町内の医療機関や介護保険事業所に寄付しました。

認知症マフは、認知症のある方等の落ち着かない手を穏やかに暖かく保ち、触覚や視覚といった感覚を用いたケアに活用できるものです。認知症マフを受け取った利用者は、認知症マフに触れながら笑顔を見せ喜んでいました。

認知症マフは、地域の皆さまからご寄付頂いた毛糸で作りました。たくさんのご寄付、ありがとうございました。

## 子どもから高齢者までの交流の場 奥中山こども食堂ひなたぼっこ開催



それぞれ好きなものを盛り付けオリジナルのサラダうどんができました。

8月11日、奥中山地区センターで奥中山こども食堂ひなたぼっこが開催されました。

この活動は、子どもから高齢者までの交流の場の提供による地域コミュニケーションの向上を目的に、奥中山高原クラブ（大欠清身会長）が実施しているものです。

当日は、地域の子どもたちとその親、地域の高齢者等47名が参加しました。昼食には、地域の企業や農家から寄せられた旬の野菜を使ったサラダうどんが振舞われ、多世代が集い楽しい時間を過ごしました。

## 学ぶ「思いやりの心」 小鳥谷小学校キャップハンディ体験、認知症講座



こずやサンプルク職員から車いす操作について学ぶ児童。

小鳥谷小学校3～4年生の児童5名は、7月3日、認知症講座を受講しました。また7月9日には車いす体験と高齢者疑似体験を行い、高齢者等が生活する上でバリアとなること等を学びました。

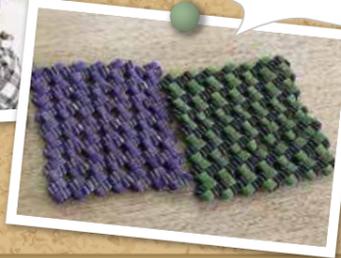
両日とも社団法人藤悠会こずやサンプルク（佐藤義輝理事長）の職員に協力してもらい、施設の紹介や介護の仕事の説明も行いました。

今回の講座を終えて、児童からは「高齢者にやさしくしたい」等の感想が述べられていました。

## いちボラレポート



6月のイベント  
クラフトバンドで  
コースターづくり



**アクセス**  
岩手県二戸郡一戸町西法寺字稲荷21-18  
(旧一戸幼稚園内)  
Open 月・水・金曜日 10:00～16:00  
Close 火・木・土・日曜日(祝日・年末年始)  
・IGRいわて銀河鉄道「一戸駅」から徒歩5分  
・お車で越えの方は、向かい側の町営駐車場をご利用ください。



**問い合わせ先**  
一戸町社会福祉協議会  
TEL 0195-33-3385



Instagram



# 赤い羽根共同募金スタート

期間 2024年 10月1日 ▶ 12月31日

本年も10月1日より、赤い羽根共同募金運動が全国一斉にスタートします。運動期間中は、法人及び大口募金は社協役職員または民生委員が、戸別募金は行政連絡員または班長等が、募金のお願いのため皆さまのご自宅にお伺いします。皆様からお寄せいただく募金は、岩手県共同募金会で集約した後、翌年度に県内の福祉施設や社会福祉協議会へ配分され地域福祉活動に役立てられます。

## 募 金 方 法



**ご家庭で** 各地区の行政連絡員または班長、民生児童委員が各家庭を訪問します。

**お店・職場で** 協力店や職場内に設置した募金箱よりご協力いただきます。

**学校で** 学校の生徒や先生にご協力いただき、募金活動を行います。

**インターネットで** 中央共同募金会が運用する『赤い羽根インターネット寄付システム』を利用することで、クレジット決済やコンビニ決済による寄付を行うことができます。ご利用方法等については、『インターネット寄付システムご利用ガイド』をご参照ください。また、右記QRコードを読み取って寄付することもできます。皆様のご協力をお願いいたします。



こんな事業に役立てられています

みなさまから寄せられた募金は、一戸町の福祉活動に役立てられます。あたたかいご支援、ご協力よろしくお祈いします。



### ボランティア活動に

地域に根差した福祉活動を担う住民団体を支援し共に支え合う地域づくりを推進します。



### 新入学祝品贈呈にも

町内小学校へ入学する児童を祝い、子どもたちの成長を見守りながら子育てしやすい地域づくりを推進します。

- ほかに
- ふれあい・いきいきサロン助成事業
- 宅配食事サービス事業
- チャイルドシート無料貸与事業
- 長寿祝品贈呈事業

岩手県共同募金会一戸町共同募金委員会（一戸町社会福祉協議会内）／問い合わせ 0195-33-3385

## 社協からのお知らせ

### 生活福祉資金教育支援資金のご案内

低所得世帯等を対象に、高校、大学、短大、専門学校への就学に際し必要な経費として、授業料や通学費用等就学に必要な経費を無利子で貸与する制度です。詳しくは下記までお問合せください。

資金の種類と内容：下記のとおり

必要書類：借入申請書、住民票、世帯の所得が分かる書類（所得証明書、給与明細書、年金証書等）  
合格通知書または在学証明書、就学費が分かる書類等

問い合わせ：一戸町社会福祉協議会（TEL 0195-33-3385）



種類	使途内容の例	貸付限度額	据置期間	返済期間	貸付利子
教育支援費	学校教育法に規定する高校、大学、高等専門学校への就学に必要な経費	高校 月額 35,000 円以内	卒業後 6ヶ月以内	20年以内	無利子
		高専 月額 60,000 円以内			
		短大 月額 60,000 円以内			
		大学 月額 65,000 円以内			
就学支度費	学校教育法に規定する高校、大学、高等専門学校への就学に必要な経費	500,000 円以内			

### 一戸町宅配食事サービスを利用してませんか

一戸町社会福祉協議会では、町内在住で高齢や障がいにより調理が困難な方を対象に安否確認を兼ねた宅配食事サービスを行っております。安心安全を運ぶ宅配食事サービスはいかがですか？

料金：1食あたり400円(配達料無料)  
提供エリア：一戸町内全域  
提供日：毎週水曜日の昼食時間帯(土日祝日・年末年始除く)  
問い合わせ：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

メニューは一例です。実物と異なる場合がございますのでご了承ください。



### 日常生活自立支援事業(あんしんねっと)のご案内

高齢の方や障がいをお持ちの方で、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理の判断が不十分な方をサポートする事業です。

サービス内容：福祉サービスを安心して利用するための援助サービス  
・日常のお金の出し入れをサポートする金銭管理サービス  
・大切な書類等を安全に保管する書類等預かりサービス

利用料：1回1時間当たりおおむね1,300円(相談は無料)  
問い合わせ：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

### 一戸町鳥海・中里エリアで見守り声掛け訓練のお知らせ

認知症見守り声掛け訓練を鳥海小学校周辺を使用して行います。この訓練は、認知症等で行方不明になったときのような手順でどういった関係機関と連携するのかを学んだり、町中で困っている高齢者等を見かけた際に見て見ぬふりをせず声を掛けられるようにしたりするために実施されます。安全確保に十分な対策を立てて進めて参ります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくお祈いいたします。

日時：令和6年10月15日(火)午前9時25分～午後12時10分  
※屋外での訓練は午前10時40分～午前11時35分頃を予定しております。  
※雨天時は屋外訓練を中止します。  
問い合わせ：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

### おげんき見守りシステムのご紹介

「今日も元気になっているかな？」はなれて暮らしている家族の事が気にかかりませんか？本会では、ご自宅の電話機を活用したおげんき見守りシステムを実施しています。お気軽にお問い合わせください。

システムの内容：利用者がご自宅の電話機から指定の番号へダイヤル。音声ガイダンスにしたがって健康状態を発信します。発信した情報は、登録したご家族と社会福祉協議会の携帯電話へメールとして届きます。

利用料：設定無料 ※発信時通常の電話料金がかかります。  
問い合わせ：一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385)

## 各種相談日程表

	法律相談	多重債務相談	あすいろ(自立相談支援機関)	ふれあい相談
開催日	10月8日(火) 10月22日(火)	10月15日(火)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)	月曜日～金曜日 (土日祝祭日・ 年末年始休み)
	11月12日(火) 11月26日(火)	11月19日(火)		
	12月10日(火) 12月24日(火)	12月17日(火)		
時間	10:00～15:00	10:00～15:00	8:30～17:00	8:30～17:15
場所	二戸消費生活センター (二戸合同庁舎内) TEL 0195-23-5800 ※要予約		OneDishあすいろ TEL 0195-43-3525	一戸町社会福祉協議会 (一戸町総合保健福祉センター内) TEL 0195-33-3385

## 災害義援金募集のお知らせ

社会福祉協議会では、被災された方々を支援するための義援金を次の通り受付しております。頂いた義援金は岩手県共同募金や日本赤十字社岩手県支部を通じて全額被災地の方々へ届けられます。皆さまのご協力をお願いいたします。

- ・令和6年能登半島地震災害義援金  
石川県・富山県支部：令和6年12月27日(金)まで
- ・令和6年7月25日からの大雨災害等義援金  
秋田県・山形県支部：令和6年12月27日(金)まで



その他、各種国外義援金、救援金についても受付しております。一戸町社会福祉協議会 (TEL 0195-33-3385) までお問い合わせください。

## 寄付御礼 (令和6年7月～令和6年9月取扱分)

社会福祉協議会への寄付

- ◆鳥越川原田女性部さくらの会様  
手作りマスク 60枚

頂きましたご寄付は、地域福祉事業の推進のため使用させていただきます。ありがとうございました。

## 表紙の紹介



多世代交流フェスティバル2024の乳児用AED講習の様子。(2-3p参照)日本赤十字社の方を講師に招き、親子で楽しみながら使い方を学んでいました。

## 読者プレゼント

本誌への感想や当協議会への意見など、アンケートに答えていただいた方の中から抽選で3名の方に一戸町の特産品(1,000円相当)をプレゼントします。

応募を希望される方は、①住所②氏名③年齢④電話番号⑤本誌への感想や当協議会に対する意見などを明記の上、はがきまたはメールにて編集係までお送りください。発表は、発送をもって代えさせていただきます。

### 応募方法

#### ▶ はがき

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2  
一戸町社会福祉協議会「広報ゆいっこ編集係」

#### ▶ メール

ichinohe-shakyo@themis.ocn.ne.jp



## 編集後記

猛暑と朝晩の冷え込みに体が追いつかず、季節の変わり目を身に染みて感じています。皆さんは今年どんな夏を過ごされたのでしょうか。さて、今回の特集はいちボラ+のイベントに沿って防災について取り上げました。避難所の確認や非常時の持ち出し品等、日々過ごしていると後回しになりがちな話題ですが、身近な方と話のネタにしてみませんか。本誌が少しでも災害について考えるきっかけになれば嬉しいです。(高橋)

## 社会福祉法人 一戸町社会福祉協議会

〒028-5312 一戸町一戸字砂森93-2  
(一戸町総合保健福祉センター内)  
TEL 0195-33-3385  
FAX 0195-33-2737  
ホームページ  
<https://ichinohe-shakyo.jp/>

